土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　矢多田川外　河川災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　矢多田川外　河川災害復旧事業に伴う業務委託

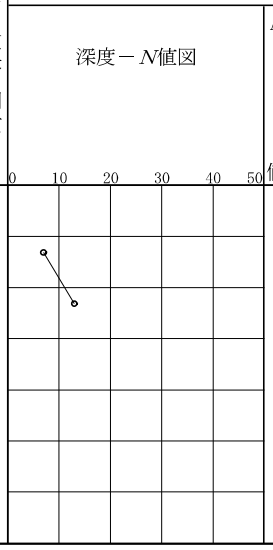
調査目的及び調査対象　道路 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	R2-Bor.No.2	**調査位置**	府中市上下町階見			**北緯**	34° 41′ 40.52″
発注機関	広島県東部建設事務所　工務第二課			**調査期間**	2020年 11月 11日 ～ 2020年 11月 21日	**東経**	133° 10′ 19.53″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 62.05m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	6.00m					**使用機種**	

試錐機	東邦DO型		
エンジン	ヤンマーNFD10型	**ポンプ**	東邦　BG-3型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土混じり砂		褐	rd2			表層10cm草根を混入する 礫を少量混入し、礫径はΦ30mmである 砂は細砂を主体とする	
2	60.05	2.00									
	59.35	2.70		粘土混じり砂質礫		褐	rd3			礫～岩片状を呈す 礫径はΦ40mmである 砂は綾い 全湧水する 礫は硬質である	
3				流紋岩		灰				概ね短柱状～柱状コアを呈す 亀裂多く、全湧水する 開口亀裂がみられる 4.20m付近流入粘土を挟む 5.60～6.00m礫～岩片状コアを呈す 亀裂面は褐色をおびる 中核度亀裂発達し、亀裂面の傾斜角は45°である 軟岩Ⅱ	
4											
5											
6	56.05	6.00									

標準貫入試験



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	2	2	3	7/300		
	1.45						
13	2.15	3	4	6	13/300		
	2.45						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
					11/13
					11/16
					11/17
					11/18